

わたしたちの鹿児島、  
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

### 》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

## 外来種被害予防3原則

### 入れない

悪影響を及ぼすおそれのある  
外来種を自然分布域から  
非分布域へ「入れない」。



### 捨てない

飼養・栽培している  
外来種を適切に管理し、  
「捨てない」。



### 拡げない

既に野外にいる外来種を  
他地域に「拡げない」。



### 》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

URL <http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html>



## 鹿児島県にお住まいの方向け

# シンテツポウユリ 防除マニュアル



シンテツポウユリ(タカサゴユリ)は鹿児島県に影響を及ぼしており、防除対策について検討が必要な種とする「重点啓発種」として選定されています。

わたしたちの鹿児島、  
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.



# シンテッポウユリってこんな植物



## シンテッポウユリ (タカサゴユリを含む)

ユリ科ユリ属 ▶ 台湾原産のタカサゴユリとテッポウユリとの交雑種

学名 : *Lilium × formolagi*  
 環境省カテゴリー : その他総合対策外来種  
 鹿児島県カテゴリー : 重点啓発種

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
芽生え												
開花												
結実												
抜き取り												

**特徴** 冬季に地上部の枯れるユリ科の多年生草本です。草丈は0.3～1.5mです。

**葉** 葉は無柄でやや茎を抱き、線形をしています。無毛で長さ10～25cm、幅4～12mmです。在来種のテッポウユリ等と比べて葉が細いです。

**根** 茎の基部には球根(鱗茎)があり、その上下に根を出します。

**花** 花期は7～11月。暖かい地域では、冬季に開花する個体も見られます。花の内側は白色で外側が白色～赤紫色を帯びることがあります。花は茎の先に1～数個付き、横からやや下向きに咲きます。

**繁殖** 自家受粉が可能で、種子を大量に作ります。種子は風で広く散布されます。成長が非常に早く、発芽から1～2年程度で、花を咲かせます。



## シンテッポウユリによる影響

在来ユリ類と雑種を形成して遺伝子汚染が広がる可能性があります。特に奄美群島に生育するウケユリとの交雑が懸念されています。

密集して咲くシンテッポウユリ→



# シンテッポウユリの防除方法

ここをチェック!

主な生育地 道端、堤防、高速道路法面等の荒地

## 抜き取り

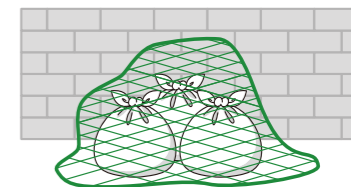
時期 ● 種ができる前の春～夏

### 除去方法



種が付着しないような服装で、球根がちぎれて残らないように丁寧に抜き取り作業を行います。種をつけた株を抜く場合は、先に種の部分を切断して種が飛散しないようにします。抜き取った後は球根や種が飛散しないように厚手のビニール袋に詰めます。

### 廃棄方法



燃えるゴミに出します。

※詳しくは各自治体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

### 根絶までの流れ

駆除を行った場所を確認し、発芽が確認されれば再度防除を行いましょ。確認されない場合も、土の中にある球根やタネから再度発芽する可能性があるため、数年間は繰り返し同じ場所で防除を行いましょ。

※個人で栽培する場合、切花として利用することにより種子の飛散を防止できます。また、球根が太り翌年の花付きもよくなります

## よく似た在来種

間違えないように気を付けましょ!



カノコユリ

花被片は強く反り返り、淡い紅色を帯びて、内面には濃い紅色の斑点があります。鹿児島県では、本土西海岸と甌島に分布し、栽培されることもあります。



テッポウユリ

花被片はやや反り返り、白色で斑点はありません。鹿児島県では甌島や種子島以南の南西諸島に分布し、栽培されることもあります。



ウケユリ

花は白色、内面は帯緑色で斑点はありません。奄美群島のみに生育しています。

※在来種と見分けが難しい場合もあるので注意しましょ(在来種を誤って防除しないようにする)。また、疑いのある株は種子を飛散させないよう花の時期に花だけ切り取りましょ。